

公益財団法人日本海事センター

第38回評議員会議事録

- 1 開催場所 海事センタービル「4階会議室」
- 2 開催日時 令和5年3月1日（水）13時～13時30分
- 3 評議員現在数及び定足数
現在数 10名、定足数6名
- 4 出席評議員 8名
(本人出席) 伊藤裕康、今津隼馬、河野真理子、谷水一雄、西本哲明、
羽原敬二、春成 誠、宮崎達彦
(ウェブ出席) なし
(欠 席) 當舎裕巳、廣瀬隆史
(出席理事) 宿利正史、平垣内久隆、下野元也
(出席監事) 石川尚
(議案説明及び報告) 下野元也常務理事
- 5 議 案 第1号議案「令和5年度事業計画書及び収支予算書等の承認」
について
報告事項 ①第57回～第59回理事会の決議内容について
- 6 会議の概要
(1) 定足数の確認
冒頭で国安総務部長から、定足数の充足を確認した。
(2) 議案の審議状況及び議決結果
宿利正史会長の挨拶に続き議長互選の提案を行い、河野真理子評議員を出席評議員全員一致で議長に選出した。
議長が、本評議員会の議事録署名人2名の選出について諮ったところ、西本哲明評議員、春成誠評議員を、出席評議員全員一致で議事録署名人に選出した。

(決議事項)
第1号議案「令和5年度事業計画書及び収支予算書等の承認」について
議長の求めに応じ、下野元也常務理事から「令和5年度事業計画書(案)」、「収支予算書(案)」及び「資金調達及び設備投資の見込に関する書類」について議案説明があった。
また、次のような質疑応答があった。

(伊藤評議員)
1. 調査研究においては、脱炭素は最重要課題であるが、海事人材、

外国人船員、2024年問題等についても目を向けていかななくてはならない。

2. 海事クラスターについても、造船所等の海事産業の競争力は大丈夫なのかという関心もある。

3. 補助事業については、PDCAサイクルを確立し、事業を見直し、連携を強化することは是非進めてもらいたい。一方で、海洋少年団や水難救済会のように地道な活動についても引き続き支援して欲しい。

(下野常務理事)

1. 国際海運の脱炭素については、我々のメインテーマであり、水素燃料などにも関心を持ってフォローしていきたい。

海事人材については、外航海運のみならず内航海運についても関心を持って取り組んでおり、6級海技士の早期養成等についても貢献していきたい。

2. 海事クラスターについては、海事産業強化法でも求められているとおり、海運・造船の競争力強化について研究を進めていきたい。

(平垣内理事長)

3. 補助事業については、海運分野での新たな動きにも対応していくが、他方でご指摘のように地道な活動を継続していくことも重要と考えており、引き続き支援していきたい。

審議の結果、原案どおり出席評議員全員一致で承認した。

(報告事項)

① 第57回～第59回理事会の決議内容について

下野元也常務理事から、第57回理事会（令和4年8月23日開催、書面決議）、第58回理事会（令和5年1月13日開催、書面決議）、第59回理事会（令和5年3月1日開催）の決議内容の報告があり、了承された。

以上をもって議案の審議等を終了したので、13時30分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名押印する。

令和5年3月1日

議 長 河野真理子

議事録署名人 西本 哲明

議事録署名人 春成 誠

本議事録の作成にかかわる職務を行った者の氏名
公益財団法人 日本海事センター
総務部長 国安 和美